

# 高砂市美術展

## 2026目録

開催  
期間

令和8年 2/6(金)・8(日)

開場時間：10時～17時 ※8日(日)は16時まで

【同時開催】

高砂市美術展2025  
大賞受賞者展

ロビーコンサート

2/7(土)



あいさつ

高砂市長 都倉達殊

本年も多くの皆様のご協力のもと、高砂市美術展2026を開催する運びとなりました。

本展へ力作をご出品いただきました作者の皆様、本日会場へお越しいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

長年にわたり開催してきた本展は、美術を愛する皆様の創作活動の成果を発表する場として、市内外からも広く知られる公募展へと定着してまいりました。

本市は、古くから白砂青松の風光明媚な泊として栄え、人と風土、自然がつながり合い、長い歳月の中で今日の文化を育てまいりました。本展に並ぶ作品は、この高砂の豊かな文化を次代へつなぐものと感じております。

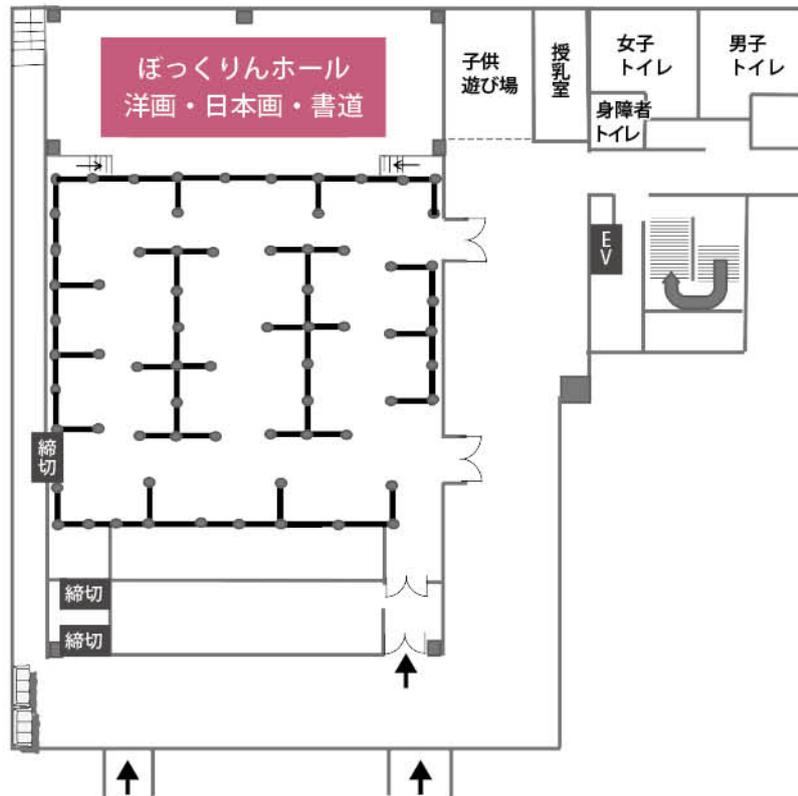
今後も「つむぎ つながり つくりだす 文化と共に育つまち 高砂」の実現に向け、皆様の創作活動を通じて本市の文化振興にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

また、本展が、ご来場いただいた皆様にとって心豊かな時間をお過ごしいただける場となるよう、そして、作者の皆様には更なる挑戦への励みになりますようお願い申し上げます。

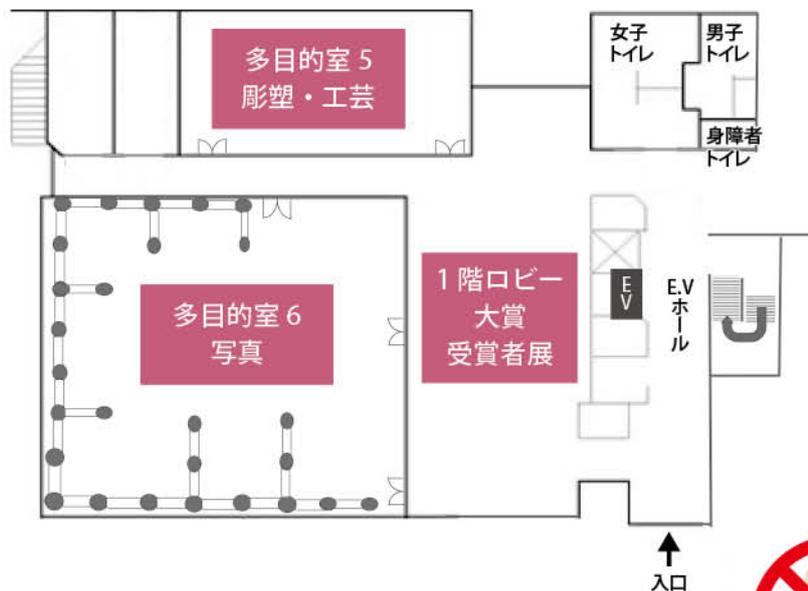
結びに、本展の開催を支えていただいております審査員の先生方、高砂市美術展運営委員の皆様、高砂市美術協会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、ご来場の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶といたします。

## 会場案内図(2階・1階)

### 〈2階図〉



### 〈1階図〉



### ご来場のみなさまへのお願い



- ◎会場内での飲食は控えてください。 ◎防犯上の観点より、監視カメラによる
- ◎作品に手を触れないでください。 撮影をしておりますのでご了承ください。
- ◎2月7日(土)14時から、東館1階ロビーにてロビーコンサートを実施します。

ロビーコンサートのため、13時30分から14時30分ごろは写真会場および彫塑工芸会場は入退室経路に制限がかかります。ご了承ください。

**【出品状況】**

	日本画	洋画	書道	写真	彫塑・工芸	計
一般出品数	21	47	34	102	19	223
入選数	21	45	34	62	19	181
審査員作品	1	—	1	1	2	5
総陳列数	22	45	35	63	21	186

**【審査員】**（敬称略）

日本画 盛 静山 兵庫県水墨画協会会長（水墨画）墨美会芸術顧問  
洋画 坂上義太郎 BBプラザ美術館名誉顧問、元伊丹市立美術館館長  
書道 倉橋 奇艸 日展会員、群艸會会長  
写真 森井 禎紹 写真家、（公社）日本写真家協会会員、  
（一社）二科会写真部名誉会員  
彫 塑 前芝 武史 日展（第3科彫刻）会員、（公社）日本彫刻会運営委員  
国立大学法人兵庫教育大学 教授  
工 芸 市野 元和 丹波焼陶芸作家、日本工芸会正会員、  
元神戸芸術工科大学教授

**【表彰式】** 令和8年2月8日（日）

受付 14時～

開式 14時30分～

高砂市文化会館（本館）1階 展示集会室

**【主催】** 高砂市**【後援】** 高砂市教育委員会、高砂市文化連盟、高砂市美術協会

高砂商工会議所、たかさご文化創造プロジェクト、神戸新聞社

BAN-BANネットワークス（株）

# 日本画の部

〈入選は作品受付順〉

賞	作品名	氏名	住所
大賞	桃李満門	高松 聖子	加古川市
優秀賞	追憶	峠 江梨子	高砂市
努力賞	育む	多田 雅	神戸市
高砂市美術協会賞	悠々有閑楽釣	田口 幸男	明石市
高砂商工会議所賞	遠灯	池田 裕子	奈良県
入選	無心	白石 今朝徳	高砂市
入選	幽玄	生野 勝正	西宮市
入選	飛び立つ	奥田 敏	奈良県
入選	霞裳蘭	中谷 洋子	加古川市
入選	葦の印南野	井上 賢一	明石市
入選	宇宙の美	石本 高子	高砂市
入選	佐多岬	鈴木 昌子	高砂市
入選	幽玄な石の宝殿Ⅱ	中谷 強	高砂市
入選	守る	竹内 真弓	大阪府
入選	蓮	横田 國輝	三木市
入選	尋水望山	沼田 弘美	高砂市
入選	火祭り	徳永 夢又	たつの市
入選	遠い日	的場 哲也	南あわじ市
入選	秋意	仲川 千絵	奈良県
入選	闘	黒田 孝	明石市
入選	二人	宮川 若子	加古川市
審査員作品	秋風賛香	盛 静山	神戸市

## 日本画

審査員 盛 静山

各地から出品された市展の作品を見て、出品者の情熱に満ちた心の表現の美しさを感じました。芸術は作者の心の表現ですので、作者の価値観を審査するのに苦労しました。また、高砂市美術展の美を愛する文化の高さも感じました。これからも歴史ある高砂の文化と芸術を、時を刻みながら、さらに発展することを祈っています。

入賞作品の数に限定がありますので、入選の方にも立派な作品があります。来年も出品してください。

### 大賞

「桃李満門」 高松 聖子



人物を左にして右側の動物の動きと目線が作品を広げている。技術的にも、白と墨のバランスも良く、上品に仕上げた作品です。

### 優秀賞

「追憶」 峠 江梨子



花の大小の形のリズム、白と黒とのバランス等、画面の構成もよろしい。赤の色も美しい、作品の重さを心に感じます。

### 努力賞

「育む」 多田 雅



「育む」の花が右から左上に流れを表現しながら構図をとり、作品に動の流れを出しているのが良い。墨のトーンが美しいが、花のポイントに弱さがあるのが残念です。

### 高砂市美術協会賞

「悠々有閑楽釣」 田口 幸男

南画の筆圧も良く変化に富んでいる。白と墨とのバランスも良く、文人達の楽しい生活感も出て自然界の中の一日を想像させている。



### 高砂商工会議所賞

「遠灯」 池田 裕子



舟の灯が主体の作品ですが、遠灯にしては白が強い所がある。すっきりとした作品です。水と舟の灯に一工夫があったらさらに良くなる。今後期待します。

# 洋画の部

〈奨励賞・入選は作品受付順〉

賞	作品名	氏名	住所
大賞	葬用馬車の出る頃	脇本 明	岡山県
優秀賞	朝に咲く	原 敏彦	姫路市
努力賞	ひまわりーな	島田 勝	豊岡市
高砂市美術協会賞	不眠	大久保 杏城	大阪府
高砂商工会議所賞	花風	小橋 幸子	加古郡播磨町
文化会館館長賞	S氏の大意	澤田 善弘	姫路市
神戸新聞社賞	ひらり	加納 琉華	加古川市
奨励賞	hangout spot	福地 陽仁	加古川市
奨励賞	想像と創造	山中 理一	加古川市
奨励賞	花散歩	松本 ます子	神崎郡福崎町
奨励賞	停泊漁船	松本 英彦	加古川市
奨励賞	ムクノキ	財田 明	姫路市
入選	産業発展を支える	川島 實	川西市
入選	古法華達磨磨崖仏	松本 理恵子	加西市
入選	ふる里への道	平松 瑛一	高砂市
入選	絶望の街	大野 浩	明石市
入選	市ノ池公園2	森吉 せつ子	姫路市
入選	大正ロマンの薫る街	喜谷 繁己	姫路市
入選	埴輪の世界	有野 和枝	高砂市
入選	バリ島のフランボヤン	小野 清美	加古川市
入選	ねこ、異世界へ行く	伊豆原 みゆき	加東市
入選	三択	江原 悠馬	加古川市
入選	湖畔の朝	西川 寛	加古川市
入選	思い出	佐藤 保美	加古川市
入選	全集中の気流	中岡 鉄史	神戸市
入選	京都駅	香川 勝洋	姫路市
入選	春風	東田 千鶴	加古川市
入選	登龍門	永恵 陽子	明石市
入選	白い搭	志賀 勝彦	高砂市
入選	ステンドグラスの向こう	佐野 幸司	加古川市
入選	無題	植田 修	姫路市
入選	採石場岩カベ	沖宗 克敏	高砂市
入選	闘竜灘	大島 伊津子	加古川市
入選	跳べ!	田端 昌子	加古川市
入選	給水塔の残る街	竹井 和代	高砂市
入選	秋の終り	矢崎 正博	明石市
入選	篠山稲荷神社の神木	村上 毅	加古川市
入選	鹿島川の春	藤原 秀利	高砂市
入選	桜夜	池澤 晴人	加古川市
入選	楽しいおしゃべり	但馬 久美子	加古川市
入選	流輝	高原 信子	姫路市
入選	深山溪谷	河野 伸明	高砂市
入選	薫風	田中 紀子	姫路市
入選	港をあとに	丸尾 邦典	姫路市
入選	明日へ	野田 昌義	姫路市

今回も真摯に取り組み、出品して頂いた作品群を好感を持って審査に臨みました。描き手が取り上げた自然や人間像の表現への視点を重視し、選ばせて頂きました。描き手が画面上の効果を意識してコラージュを加えたり描きすぎたりと思いが却って絵の本質を希薄化しているようにも感じました。技葉末節に拘り過ぎると描き手の創作姿勢が後退するのではないのでしょうか。何れにしても余り気負い過ぎずに自身の尺度で伸びやかに表現されることを望みます。

大賞

「葬用馬車の出る頃」 脇本 明



故人の遺影を抱く親族を中心に、橋の中央に葬用馬車を、その前後に多くの参列者の群像を描く構成が目を引き。また、橋の左右の民家の螢の表現も効果的で、画面右上の小さな月が参列者のユニークな表情を増幅している。

更に葬儀受付前の野犬の喧嘩が葬儀の静けさの中に、唯一の音が感じられるのも面白い。ただ、中味のある画題だけに額装の処理がお粗末なのが気になった。ご注意頂きたい。

優秀賞

「朝に咲く」 原 敏彦



紫色の蓮は、仏教では極楽浄土を意味する。そんな蓮の花に時間の推移を託し、群生する状景を色鮮やかに表現している画面に好感を持った。そして、蓮の花弁から上昇する花粉状の表現に自然の持つエネルギーが重なっているように映る。今後の作者の自然観照からの作品を楽しみに待ちたい。

努力賞

「ひまわりーな」 島田 勝



四角形の画面内に、少し右下がりの四角形の画面を布置したキネティック風な作品。その画面内に向日葵をあしらった洋装で大きなつば広の少女の立ち姿が目止まる。その周囲には、鮮やかな色彩による様々な形態による図形の群れが、不思議

な世界を構築している。後手に持った破れている小道具の現実感との対比も面白い。

高砂市美術協会賞

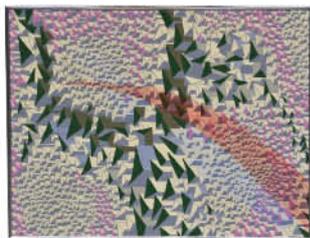
「不眠」 大久保 杏城



一見、机の上でほほに肩肘をついている少女のように映る作品。力強く太いストロークによる人物像の描写力に魅せられる。寝不足のような瞳の表情と頭髪の表現や背景の独創的な処理から、作家の今後の展開が期待できる。

高砂商工会議所賞

「花風」 小橋 幸子



人家の群れのような三角錐形の形態を無数に配った画面は、抽象画のようだが、無数の三角錐形の群れの上を花風が通る。爽やかで心地良い作品に仕上がっている。静かな画面に気持ちよく誘われるのは、私だけではないでしょう。

文化会館館長賞

「S氏の大志」 澤田 善弘



青色の服を着た高齢と覚しき男性の左右に白いレースをコラージュした作品だ。コップを手に笑顔を見せる男性像の表情に人生賛歌をみた。ただ、左右のレースが少し饒舌すぎるので残念だ。

神戸新聞社賞

「ひらり」 加納 琉華



画面内に海月のような浮遊形態上へ色鮮やかな不思議な形態が描かれている。恰も今日の情報過多な世界に浮遊する人間を想起させるようだ。そして、人間と自然の共生が新しい世界を構築するのはどの作者の姿勢に共感を覚えた。

# 書道の部

〈奨励賞・入選は作品受付順〉

賞	作品名	氏名	住所
大賞	祝允明詩	白石 拓斗	高砂市
優秀賞	杜審言之詩	山本 彩華	埼玉県
努力賞	海恋し	眞殿 窓景	赤穂市
高砂市美術協会賞	世の中に	長谷川 尚美	加古川市
高砂商工会議所賞	陸游之詩	小林 里菜子	姫路市
文化会館館長賞	みじかよの	龍古 悠苑	姫路市
神戸新聞社賞	易恒詩	星住 桂月	姫路市
奨励賞	烏棲曲	小谷 荷香	赤穂郡上郡町
奨励賞	竹里館	松田 尚	神戸市
入選	蜀素帖(擬古)臨書	白石 今朝徳	高砂市
入選	雲蒸龍変	鈴木 健二	加古川市
入選	夢(わら書)	入江 隆雄	高砂市
入選	禅語	大家 荘司	高砂市
入選	やは肌の	田辺 芳斎	たつの市
入選	菜根譚	辻井 政勝	高砂市
入選	福語	垣内 俊一	加古郡播磨町
入選	五言句	池本 竹風	赤穂郡上郡町
入選	李白之詩	井上 英乗	姫路市
入選	鶴飛鶏群	奥野 幸子	尼崎市
入選	黙々者存	奥野 美幸	尼崎市
入選	過香積寺	片桐 則子	宝塚市
入選	春晴	福田 智成	高砂市
入選	旅夜書懐	下田 眺峰	姫路市
入選	郭璞之詩	土谷 祥舟	相生市
入選	秋思	永本 壽彩	姫路市
入選	四言句	三木 淳	姫路市
入選	村上仏山詩	宮本 華逕(智子)	相生市
入選	夢中問答	山本 英信	高砂市
入選	宋中	若山 竹翠(美紀)	姫路市
入選	源	橋本 直染(直樹)	三木市
入選	曹操詩短歌行之一節	高橋 子路	高砂市
入選	北上夜曲	佐久間 久凜	赤穂市
入選	くれゆけば	前田 翔香	赤穂市
入選	江口千家	八木 巧宣(巧)	姫路市
審査員作品	久保田万太郎の句	倉橋 奇艸	神戸市

伝統ある高砂市美術展、今回書道の部の審査をさせていただきました。漢字は篆・隸・楷・行・草の書体でバラエティーに富み、仮名は堂々たる大字の出品作が目に入りました。篆刻作も工夫がありました。調和体の作品は一点でした。市展は地域に根ざした展覧会です。これからも力作を出品して下さい。

大賞

「祝允明詩」 白石 拓斗

縦三行の行草作品。力強く揺るぎない筆運びです。行草であるけれど曲線よりも直線を用い、右上がりの造形と共にリズムを感じる秀作です。



優秀賞

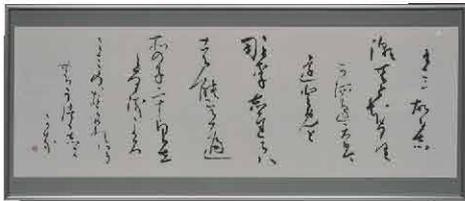
「杜審言之詩」 山本 彩華

本美術展に出品された篆書作品中、縦形式四行の構成で密度ある仕上がりとりました。作品の中に盛り込まれた多画で大きな文字が目に入ります。



努力賞

「海恋し」 眞殿 窓景



情熱の歌人・与謝野晶子の歌2首を横作品にまとめました。変体仮名を多用し、仮名特有の連綿も少なくして流れを作った意欲作です。

高砂市美術協会賞

「世の中に」 長谷川 尚美

縦への流れが美しく決まっています。はじめに詠み人を書き、一紙を切って赤い筋の演出で洒落た作となりました。



文化会館館長賞

「みじかよの」 龍古 悠苑



高砂商工会議所賞

「陸游之詩」 小林 里菜子

隸書の中でも木簡の筆法を取り入れた異色作。様々に変化する波磔の形、深い茶の紙の色がより作品を際立たせています。



墨の潤濁を大胆に駆使した中央部分、その前後は行の長短や広狭で変化をつけ、作品の中で調和させました。

神戸新聞社賞

「易恒詩」 星住 桂月

行草三行の中で、極端な大小の変化を用いず、そのことで落ち着いた重厚な作に仕上がりました。一文字一文字が力強く響きます。



# 写真の部

〈奨励賞・入選は作品受付順〉

賞	作品名	氏名	住所
大優努	曙色の眩しさ	大西 広司	加古川市
秀力	だんじり海へ	野村 正志	姫路市
高砂市美術協会賞	街角	山本 洋子	神戸市
高砂商工会議所賞	黒さが決め手	石原 修	三木市
文化会館館長賞	水彩魅惑の旋律	尾崎 郁也	明石市
神戸新聞社賞	ボス	尾上 寛重	姫路市
奨励賞	ハレの日の親子	山田 純一	神戸市
奨励賞	螺旋階段（小宇宙）	藤村 清春	高砂市
奨励賞	参道乱舞	松場 鋼一	丹波市
奨励賞	水上の協奏曲	大塚 明弘	三田市
奨励賞	優幻	高田 恭子	加古郡稲美町
奨励賞	休日漁港	遠藤 堅衛	神戸市
奨励賞	冬が描いた絵	小倉 邦美	明石市
奨励賞	黎明の海岸	加来 英俊	加古川市
奨励賞	泣いたら勝ちよ	武田 治	加古郡稲美町
入選	ローカル線の四季	河合 正雄	小野市
入選	万禄	山田 隆一	加古川市
入選	家路	浦野 康宏	姫路市
入選	五月雨の参道	田辺 邦彦	姫路市
入選	鍛錬	藤澤 隆	姫路市
入選	雨と青のシンフォニー	横山 俊彦	加古川市
入選	未来へ続く虹色のプロムナード	下山 俊一	明石市
入選	鳴子手に舞う	高橋 三吉	加古川市
入選	人形供養	宇田川 洋二	三田市
入選	出番待ち	徳岡 千津子	西脇市
入選	石の宝殿	前田 治	三木市
入選	狐が嫁ぐ日	清光 静枝	加古川市
入選	いぬの車掌さん	指田 栄二	姫路市
入選	桜色に染まる	田中 美和	三田市
入選	勇壮山笠	荒木 貞夫	明石市
入選	大都会	吹田 武志	高砂市
入選	村の鎮守様	小山 正弘	三木市
入選	大好きだよ	杉村 慶子	三田市
入選	青の世界へ	土井 嘉子	姫路市
入選	錦秋	安田 善八郎	神戸市
入選	薄氷のピエロ	安達 孝子	姫路市
入選	春が来た！	安政 真弓	姫路市
入選	漂流のオブジェ	鈴木 勝	高砂市
入選	不夜城の息吹	阿佐美 春夫	姫路市
入選	彼岸の宝石	今村 久美子	明石市
入選	花筏、空を奔る	松田 誉	加古郡稲美町
入選	さえずり	石井 悦子	姫路市
入選	巨大機降臨	大塩 正一	姫路市
入選	赤い橋	白坂 英久	たつの市
入選	終日（ひねもす）	藤木 正典	姫路市
入選	プラスバンドも後押し	山口 哲人	高砂市
入選	光害	若宮 章	姫路市
入選	灘のけんか祭り	今津 和彦	姫路市
入選	紅葉の候	飛岡 正己	加古川市
入選	家族のかたち	石垣 康江	高砂市
入選	神光	大穂 博美	姫路市
入選	夕陽に染まる	高谷 富子	加古川市
入選	港夜景	河野 雄二	加古川市
入選	白い翼	田中 則義	加古川市
入選	綿帽子	山口 美知子	三木市
入選	最北端で	藤井 勝彦	姫路市
入選	花見日和	黒崎 詳子	加東市
入選	奇祭	小林 多紀夫	小野市
入選	顔	大垣 賢一	明石市
入選	雲上のひと	松本 三千雄	加古川市
入選	鬼参上	西尾 めぐみ	姫路市
入選	朝霧	西尾 秀己	姫路市
審査員作品	追憶	森井 禎紹	三田市

## 写真

審査員 森井 禎紹

審査対象としたのは、「写った」写真ではなく「写した」写真を重視しました。特に「狙い」、「シャッターチャンス」、「構図・構成」、「切り取り」、「プリントの仕上」等です。これ等は写真を写す上における基本です。今回は豊富な被写体に楽しい審査が出来ましたと共に拮抗した内容に優劣をつけるのに苦労しました。

### 大賞

「曙色の眩しさ」 大西 広司



風景写真は「出合」が勝負と言いますが、素晴らしい条件に遭遇されました。天地の暗部を取り入れたことに雲間からの木漏れ日が一層美しさを増しました。

### 優秀賞

「だんじり海へ」 野村 正志



沼島まつりのクライマックスを写された作品ですが、撮影場所が良く、画面の切り取り、シャッターチャンスも適切で、この被写体の見せ場、「波しぶき」、「祭り衆の緊張した姿」が一層迫力が出ました。

### 努力賞

「街角」 山本 洋子



いい着眼点が出来ました。外壁に描かれた絵がユニークで目を引きました。傍でギターをつま弾く男性も脇役として必要でスナップの上手さが出ています。左側が窮屈なのが残念です。

### 高砂市美術協会賞

「黒さが決め手」 石原 修



墨付け祭りのひとコマですが、3枚の組写真にしての見せ方が成功しました。三枚三様の仕草にユーモアのある祭りがそのまま描かれています。

### 高砂商工会議所賞

「氷彩魅惑の旋律」 尾崎 郁也

寒い朝、何かに氷が張った窓ガラスなのか？そこに当たった光が七色の美しい色彩をはなっている。造型的な表現をまじえて見事な美しさに仕上げられました。



### 文化会館館長賞

「ボス」 尾上 寛重

この猿の一番いい部分を切り取った事が成功しています。シャープな画面とモノトーンのコントラストのついた画面に一層迫力が出ました。まさに「ボス」ですね。



### 神戸新聞社賞

「ハレの日の親子」 山田 純一

明るく楽しい写真です。青空を背景にコイノボリが一層映えました。元気よく泳ぐコイノボリもいいですよ。脇役に配した親子も存在感が出ました。平和そうな家族の休日が見えられています。



賞	作 品 名	氏 名	住 所
大 賞	花器 神秘の輝	中村 義弘	姫路市
優 秀 賞	春が来た	飛岡 正己	加古川市
努 力 賞	Double Revolve	山本 諭	明石市
高砂市美術協会賞	奏流	松尾 昭一郎	明石市
高砂商工会議所賞	木の葉	高原 節子	高砂市
文化会館館長賞	風紋	田方 康夫	明石市
神戸新聞社賞	夢ん中	松本 健一	明石市
入 選	かにさんおこらないで!!	大塚 博	明石市
入 選	カラフル	中谷 智子	加古川市
入 選	高浮彫花瓶「白燕 花の頃」	小野 佐季子	加古川市
入 選	黒泥鑄花器	木下 俊明	明石市
入 選	ランプシェード「万家春」丹波焼	小嶋 豊	加古川市
入 選	てんとうむし	永惠 陽子	明石市
入 選	花台	川端 充	姫路市
入 選	夫婦?呑茶碗	三柴 眞喜男	高砂市
入 選	福呼ぶ“ふくろう傘立て”	甲斐 静江	高砂市
入 選	様々な花	山口 美知子	三木市
入 選	語り合う	宮本 幸市	高砂市
入 選	備前板皿「河面に写る月」	柴田 善博	高砂市
審 査 員 作 品	自刻像	前芝 武史	加東市
審 査 員 作 品	岳	市野 元和	丹波篠山市

## 彫 塑 ・ 工 芸

審査員 前芝 武史  
市野 元和

今年度は彫塑・工芸の部に19点の力作が、高砂市に集結しました。明らかに彫塑分野であると断定できる作品の出品は、残念ながら今回見受けることは出来ませんでした。工芸分野では、陶芸・木工・漆芸・刺繍などバラエティ豊かな作品が応募されていたことは誠に喜ばしいことであると感じました。審査は慎重を期し、工芸（陶芸）を専門とする審査員と彫塑（立体造形）を専門とする審査員の2名で合議を重ね、7点を受賞作品と致しました。

### 大 賞

「花器 神秘の輝」 中村 義弘



形とシンプルな色彩のバランスが見事な作品である。この作品は紐状の粘土を貼り付けることによって心地よいリズム感が作品全体から感じられます。扁壺の形に伝統的な貼り付けの技法を巧く活かし、独自の表現となっています。今後の展開が楽しみな作品である。

### 優 秀 賞

「春が来た」 飛岡 正己



春の訪れを告げるヒヨドリをモチーフとした木工（バードカービング）の作品である。冬を耐え忍び、春を遅く生き抜こうとするその姿は、愛らしさよりも寧ろ野性味や厳しさが勝るかのようなのであるが、そうした野鳥の小さくも確かな存在感や強い生命感が、鋭く緻密な彫りによりの確に実現された作品として評価させていただきました。

### 努 力 賞

「Double Revolve」 山本 諭



包む形と包まれる形が一つの作品として構築され、且つ数学的な美しさと自然な動きが見事に調和したフォルムを呈しています。技法的には釉薬とともに陶土が焼成されてあることから、領域的には陶芸ということになりますが、内容的に見ると彫刻造形の基礎造形的な要素も強く、3次元形態・

3次元造形の魅力がよく出た作品、彫刻芸術の抽象表現につながる作品として評価させていただきました。

### 高 砂 市 美 術 協 会 賞

「奏流」 松尾 昭一郎



口の作りと全体のフォルムが流れるような線で構築され、繊細なデザインと色のバランスが熟練の技法でもって上品な作品に仕上がっています。

### 高 砂 商 工 会 議 所 賞

「木の葉」 高原 節子

緑が退色し、やがて色が変わる頃の木の葉をモチーフとしたかと思われる作品ですが、全体の安定感や構図、構成、刺繍の緻密さ、調和、作品の中から見いだせる時間の移ろい等を評価いたしました。



### 文 化 会 館 館 長 賞

「風紋」 田方 康夫



縄文土器などに見られる紐作りの技法を独自の細紐によって非常に個性的な

表現になっています。外側の文様だけでなく内側の景色も美しく、花を活けてみたいと思わせる作品である。

### 神 戸 新 聞 社 賞

「夢ん中」 松本 健一



作者が素材にゆっくりと時間をかけて、コツコツと向かい合っている姿が見える

ようです。きれいな色彩と三角形を基調としたデザインが日常の生活に潤いと幸福感を与えてくれます。

# 高砂市美術展 大賞受賞者展

2025

日本画／洋画／書道／写真／彫塑・工芸

この美術展は、「高砂市美術展2025」において  
各部門で大賞を受賞された方々による  
特別な美術展です

2026年

会期

2月6日(金)▶8日(日)

10時▶17時(8日は16時まで)

会場

高砂市文化会館  
東館1階ロビー



# 今村 直樹

日本画

# 吉川 義紀

洋画

- 〔作者経歴〕  
 1982年 大分県スケッチ大会 県推奨受賞  
 1985年 大分県税金ポスター 特選  
 1987年 大分県油絵大会 静なる風 大分県芸術会館展示  
 2025年 高砂市美術展 大賞

- 〔作者経歴〕  
 60歳退職後23年間絵画教室に努める  
 2001年度より 一般社団法人 二紀会委員 滝本周造師事  
 2021年 高砂市美術展優秀賞  
 2021年、2023年、2024年、2025年 東京二紀展 入賞  
 (国立新美術館展示)

2025年 高砂市美術展 大賞



「世界のアイドル韓国のBTS」

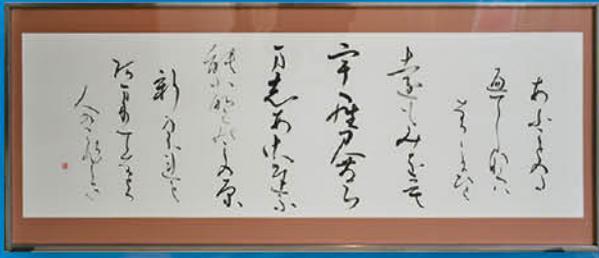


「夢幻」

# 福井 翠苑 (恭子)

書道

- 〔作者経歴〕  
 2003年、2004年 兵庫県書道展特選・無鑑査  
 2006年、2010年 読売展 特選・評議員  
 2017年、2019年 高砂市美術展 美術協会賞  
 2025年 高砂市美術展 大賞



「あふことの」

# 明野 敏行

写真

- 2021年 高砂市美術展優秀賞  
 2022年 赤穂市美術展 議長賞  
 小野市美術展 商工会議所会頭賞  
 2023年 佐用郡美術展 ロータリークラブ賞  
 2024年 宍粟市美術展 神戸新聞社賞  
 2025年 高砂市美術展 大賞  
 加西市美術展 神戸新聞社賞

# 谷 健三

彫塑・工芸

- 〔作者経歴〕  
 2023年、2024年 兵庫工芸展 入賞  
 2024年、2025年 日本伝統工芸近畿展 入選  
 2025年 高砂市美術展 大賞  
 2025年 日本伝統工芸展 入選  
 2025年 兵庫県展 入賞  
 2026年 陶美展 入選



「はす」



「アートドア」

GRAND PRIZE WINNERS EXHIBITION



# 高砂市美術展 2026

## ロビーコンサート

開催日

2026年2月7日 土

開演時間 / 14時

会場

高砂市文化会館東館

1階ロビー

### 〈演奏曲目〉

- ① 組曲「展覧会の絵」より  
プロムナード
- ② 荒城の月
- ③ 歌劇「トスカ」より  
歌に生き愛に生き
- ④ その他

出演

大石淑恵  
〔ソプラノ〕



6歳よりピアノを始め、  
高砂市児童合唱団で歌を習い始める。  
大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。  
多田佳世子、小村亮三、故 田原祥一郎、  
ヴァラリー・ブロード、各氏に師事。  
高砂音楽家協会会員。  
高砂市在住。

出演

安岡典子  
〔ピアノ〕



相愛女子大学(現・相愛大学)音楽学部器楽学  
科ピアノ専攻を卒業。  
トーンチャイムアンサンブル「Duemila」を  
主宰し、地域のイベントや、老人施設、幼稚園  
等での訪問演奏を精力的に行う。  
加東混声合唱団、音楽団体(音流語流の家、  
夢詩歌)の伴奏者。  
加東フィルハーモニー管弦楽団では  
バイオリンを担当している。

## 市章

高砂の「高」を最大限簡略化したもので、円形であるのは平和を表し、中央に突出しているのは、伸びゆく高砂市の推進力を表しています。



## ブライダル都市高砂

謡曲「高砂」や「尉と姥」とゆかりの深い高砂市では、昭和63年7月にブライダル都市宣言を行いました。この宣言は、ブライダルを単に結婚式という意味にとどめず「愛・長寿・和合・平和」をテーマに掲げ、健康で明るく生きがいのあるまちづくりの推進をうたっています。



主催  
高砂市

後援  
高砂市教育委員会、高砂市文化連盟、  
高砂市美術協会、高砂商工会議所、  
たかさご文化創造プロジェクト、  
神戸新聞社、  
BAN-BANネットワークス(株)

アンケートに  
ご協力ください



## 編集

高砂市  
健康こども部 健康文化室  
文化スポーツ課  
TEL : 079-443-9136